

損保ジャパン「医療機関用団体サイバー保険」のご案内

☆サイバー犯罪が増えています！

警察庁の広報資料によると、サイバー犯罪の検挙件数は4年間で約2倍に増加しており、

1件あたりの被害額も大幅に増加しています。最近もアサヒビールやアスクルがランサムウェアの攻撃を受け、商品の受注・出荷が制限される等、多大な損失が発生しています。

☆医療機関も狙われています！

秘匿性の高い個人情報を取り扱う医療機関は、ビジネス目的で狙われる可能性が高いとされています。過去に被害を受けた病院では、電子カルテが使用できなくなったことから紙カルテによる運用を余儀なくされ、全体の診療システムが復旧したのは事故発生時から73日後のことでした。

★サイバー保険では損害賠償金の支出や喪失利益に対する備えだけでなく、原因究明や被害拡大防止に向けた対応もサポートします！

「医療機関用団体サイバー保険」では、サイバー攻撃や情報漏えいなどに起因する次の損害に対して保険金をお支払いします。

- ①「事故の調査」から「解決／再発防止」までの諸費用
- ②他人に損害を与えた場合に発生する法律上の損害賠償責任による損害・争訟費用
- ③喪失利益や営業継続のための費用【オプション】

また、事故の公表や患者への謝罪等の対応をしなければならない場合、SOMPO リスクマネジメント(株)を窓口として、ワンストップかつ総合的にサポートします。

※詳細は下記パンフレットをご覧ください。

<https://www.nagano.med.or.jp/upload/20250620120958483.pdf>